報知ボーイズリーグ

ボーイズリーグ九州ブロックの過去記事やチーム情報、新聞購読や写真購入方法はスポーツ報知西部本社ウェブサイトにも掲載しています。

八幡南など4強

2回戦の5回、ランニング2ランを放つ長谷川＝提供写真＝

【中学】北九州支部予選

（11月27、28日・1回戦＝オーヴィジョンスタジアム下関ほか）

小倉に雪辱果たす

八幡南は1回戦で、秋季大会でコールド負けした小倉にリベンジ成功。0―3の6回に田中豪和、長谷川舜、管太樹の3者連続適時打などで6点を入れて逆転し、7回にも5点を追加した。

大量得点のきっかけを作ったのは途中出場の選手たち。6回は代打の岩野大聖と吉田翔大、7回は山下悟空、勝木大生、長尾翔真がいずれも四死球で出塁してチャンスを広げた。

長谷川ダメ押し弾

続く2回戦は3回に小辻翔太の2点二塁打などで5得点。4回に3点を奪われたが、5回に長谷川のランニング2ランでだめ押しした。

徳野晴美監督は「1回戦の6回は岩野が難しいボールをよく見極めてくれた。初戦を勝たせてもらってからチームが一つにまとまった」。コロナ禍で中止となった大会もあったため、2年生主体のチームでは初の上位進出。先輩たちに続く春切符獲得へ。八幡南の反撃は始まったばかりだ。

第52回 春季全国大会予選

来年3月に東京で開かれる春季全国大会の予選が九州各地で幕を開けた。西九州支部予選は西松ボーイズが制して2年ぶり5回目の春切符をつかんだ。北九州支部予選は4強が出そろい、3連覇を目指す八幡南ボーイズなどが準決勝に進出した。（弓削 大輔）